

日本クリスチャン・アシラム連盟

Founded by Eli Stanley Jones

冬季号



日本アシラム

1992年1月1日

United Christian Ashrams of Japan

77

開心・静聴・充滿・献身・奉仕

世界アシラムの標語



張田 寅男

連鎖祈禱の一時間

「光の子らしく歩きなさい」

あなたがたは以前はやみであつたが、今は主にあつて光となつている。光の子らしく歩きなさい。

エペソ五章八節

第二九回関東アシラムに参加した一人である。連鎖祈禱の一時間、ここに揚げたみ言葉を中心に黙想しチャレンジを受けた。私の受持時間は真夜中をえらんだ。薄暗い廊下を祈禱室に向う。みんな眠っている。外は真つ暗、この暗さはキリスト以前の心のような。まず静聴に入る。

しばし黙想の後、示された聖句はこれである。(一)、あなたがたは以前やみであつた。(二)、今は主にあつて光となつた。(三)、光の子らしく歩きなさい。

(一)、の瞑想 ロマーノ一八以下黙読「神の怒りは、不義をもって真理をばはもうとする不信心と不義とに対して天から啓示される……」ここにキリスト無き世界の真相が繰りひろげられる。神をこぼみ、これを無視する愚かさ。心の欲情にもてあそばされるはかなさ。ゆがめられ

(二) リント第一書十二節三節
(三) ビリビ書 第二章 十一節

(一) 聖霊の啓導と充滿
(二) 教会への奉仕と伝道
(三) 神の国の体験と献身

た人間関係からあらわな罪がぞろぞろと登場する。「彼らは神を認めることを正しいとしなかつたので、神は彼らを正しからぬ思いにわたした、……」やみは政治だ、社会だ、悪い環境にあつて、自分は正しいと他を責めていた自分にとても感謝はなく空しい日々を送っていたやみの子の時代を顧みて、奇しき福音へのみちびきを感謝。

(二)、の瞑想 エペソ二ノ四ノ七「しかるに、あわれみに富む神はわたしたちを愛して下さつたその大きな愛をもつて、罪過によつて死んでいたわたしたちを、キリストと共に生かし、キリスト・イエスにあつて、共によみがえらせ、共に天上で座につかせて下さつたのである」

ここでアシラム聖歌集を開いて⑮丘のうえに十字架立つを目で賛美あらけずりの主の十字架かぎりなくとうとし赦しあたえきよくするはイエスキミの血しおぞ(三節)

(三)、の瞑想 エペソ六ノ一〇以下「主にあつて、その偉大な力によつて強くなりなさい。悪魔の策略に対抗して立ちうるために神の武器で身を固めなさい。……完全に勝ち抜いて堅く立ち得るために神の武器を身につけなさい……救のかぶとをかぶり、御霊の剣すなわち、神の言を取りなさい。絶えず祈りと願いとをなし、どんな時でも御霊によつて祈り、そのために目をさましてうむことがなく、すべての聖徒のために祈りつづけなさい……口を開くときに語るべき言葉を賜り、大胆に福音の奥義を明らかに示しうるように」祈ること、これすなわち光の子らしく歩むことであり、主が今肯示されたことだと確信し、アシラム出席者名簿により、とくに祈りの細胞の友のためのニーズについて祈りをささぐ。

しばし感謝の黙想
黙想のうちにヨハネIの手紙三ノ一のみ言葉が示される。
「わたしたちが神の子と呼ばれるためには、どんな大きな愛を父から賜つたことか。よく考えてみなさい」ハレルヤ 主の恵によつて光の子として下さつた。

それと共に、今に至るまで恵の摂理と、愛をもつて労苦して下さつた師や、友の祈りと忍耐とに感謝。

(三)、の瞑想 エペソ六ノ一〇以下「主にあつて、その偉大な力によつて強くなりなさい。悪魔の策略に対抗して立ちうるために神の武器で身を固めなさい。……完全に勝ち抜いて堅く立ち得るために神の武器を身につけなさい……救のかぶとをかぶり、御霊の剣すなわち、神の言を取りなさい。絶えず祈りと願いとをなし、どんな時でも御霊によつて祈り、そのために目をさましてうむことがなく、すべての聖徒のために祈りつづけなさい……口を開くときに語るべき言葉を賜り、大胆に福音の奥義を明らかに示しうるように」祈ること、これすなわち光の子らしく歩むことであり、主が今肯示されたことだと確信し、アシラム出席者名簿により、とくに祈りの細胞の友のためのニーズについて祈りをささぐ。

理事 長 海老沢 宣道
編集人 大石 淳一
発行人 一部 60円
定価 60円



第五回関西アシュラム報告

九月一五日(日)午後三時半より
翌一六日(月・祝)午後四時まで、
関西学院大学千刈キヤンプ場(兵庫
県三田市)を会場としての第二五回
関西アシュラムは左の様に行われた。

主 題 「御霊の導きと充滿」
(使徒行伝四・三一)

主助言者 海老澤宣道牧師

参加者 六五名(男27、女38)
(教職16、信徒49)

参加教会 二〇

今回のアシュラムで一番留意したものは、如何にしてスタンレー・ジョーンズ博士によるアシュラムに則る事が出来るかと言う点であった。海老澤先生を主助言者として迎えたのはそう言う願いからであって、その事は十分に満たされた。今年も数々の実りが与えられた事を感謝し、更に来年に備えて折りの細胞で例年行っている聖画のハガキ裏面にお互いの名前を記し合い、毎日メンバーを覚えて折り合う事に行っている。

(古河 治)

第六回九州アシュラム報告

「イエスは主である」今回は連盟理事長海老澤宣道先生をお迎えしての、幸いなアシュラムであった。

期日は十月一四日、一五日であった。十月は他での聖会などが重なり合い、出席が妨げられたが、四〇数名の集会となり感謝であった。会場も北九州、西南女学院研修会場で静かないい場所であり、プログラム通り、開会礼拝、オリエンテーション、福音の時、立証、充滿の時と進行し、ファミリーでは自己紹介や、祈りの課題など話し合い、互いに祈り、又聖書に聴く時でもあった。

今回、助言者にもお願いしたことは、スタンレー先生の伝えたアシュラムであったが、九州アシュラムが、ファミリーのもち方、連鎖祈禱の座席のあり方、静聴時間の不徹等、教えられ改める必要を覚えました。それに、必要も充たされ、一同喜びに満ち、教会へ、家庭へ使命をもって出て行きました。

(山本)

◎最近刊好評

インド・アシュラムの指導者

D・P・タイタス師著

海老澤宣道訳

『聖霊のパブテスマ』

現代教会が忘れてる信仰上

▼アシュラムとは故スタンレー・ジョーンズ博士がインドの退修方式を取り入れて創始された。現代教会の新しい祈禱生活運動である。

四国・松山アシュラム報告



本年の四国アシュラムは種々の都合で四国・松山山越教会を会場とし十一月十一日(月)に一日アシュラムを催したが、宇和島その他からも教友が集まり、河野修師の開心指導に続き、東京から招いた渕江淳一助言者担当の福音の時に続いて二つの祈りの細胞を通じて恵まれた充滿の時を迎え、殆ど全員が祈り、また感謝の証しをしつつ歓喜に充たされて再会を約し散会していった。(渕江)

第一〇回東北アシュラム報告

向山 自助

去る九月二日(月)仙台五橋教会を会場に準備委員会がもたれ、九回を参考にプログラムと担当が検討され、第十回東北アシュラムのプログラムができました。日時は予定の十月十日を確認。日が良いので色々の集会所となりました。その上台風の雨と風の中を熱心な兄弟姉妹が仙台五橋教会に集められました。

会場は新しいきれいな教会堂で、パイプオルガンの前奏により開心の時が始まりました。昼食を共にして反省と来年のための話し合い、来年の為に準備委員を選び、連鎖の祈りも持ちたいと一泊二日を計画することになり、十一月二十二日と二十三日を決めることができました。祈りの細胞は三細胞に分れたのです。お互いにニードを述べ合い、直ちに右側の方のため心を合わせて祈り求め、時間が足りませんでした。

閉会礼拝では来年のために献金を捧げることになるなど来年に期待をもって待ち望む、実りのある一日アシュラムでした。幸い小雨になった路を、会場の五橋教会と集められた兄弟姉妹の上に祝福を祈りつつ感謝の中に駆け急ぎました。

アシュラムの守り方(10)

名称・その他補足事項

海老沢 宣道

創始者スタンレーの信仰を継承する私共の運動の正式名称は「クリスチャン・アシュラム」で、これは国際的に公認された特別専用語であって、「〇〇アシュラム」と頭に地区名をつけて呼ぶのは便宜上のことで、「クリスチャン」(キリストの)を省略していることを忘れないようにしたい。従って開期中、種々な名称の時間を守るが、何れの場合も助言者や司会者の上に立つ主イエスの導きに従うべきである。

第七〇号に開会礼拝について述べたが、この司会者はアシュラムを十分に体得している委員長が担当すべきで、スタンレーの手引書には「そのアシュラムの成否の責任は、彼にかかっている。彼はアシュラム精神、即ち主イエスの御心を一同が捕らえやすいように、全く自然に表現できる人物である」とある。

開会礼拝はその後に続く全ての生活への導入となるよう心掛けねばならない。委員会の準備上の苦労話などは禁物である。スタンレーは「オリエンテーション」を別個の時間に設定してはいない。委員長のメッセージの中に含まれるものである。会場の位置とか、時間割、事務手続

きなどのことは、休憩に移る時、数分をさいて庶務委員が報告すればよい。

フアミリー・アワーについては小著「原則と実際」の三八頁に書いたが、短期間の計画ではこの時間を設けることは無理だと思ふ。参加者一同の親しい交わりの時として、証しの時とはちがう自己紹介とか、自由な質問、応答、感想、意見、希望などを話し合う時として守られるならば有益である。委員会の事業報告や会計報告は大抵の地区でしているように、それぞれ一枚位にまとめて配布するだけでよい。

長期間(数日)のアシュラムの場合「福音の時」(助言者のメッセージ)と「聖書の時」(聖書靈解)の二つに分けて設定するのも良い。「聖餐の時」を最後の早朝に最高令の牧師の司式により守る。主イエスの売罪愛を十分に受肉するため、使徒行伝二章四二、四六節に、「聖都の二階部屋だけでなく、各自の家で毎日共にパンをさき、祈りと賛美をしていた」とあるように、超教派で唯一の主から配餐を受けることを勧める。次回に「充滿の時」その他を以て終る予定。

▼連盟は創始者の祈りによって各地に生まれたフアミリーの全国的な交わりであって、常に新しい地区(単位)の参加を期待している。

不可欠の体験を学修する良書
新書判・約60頁・定価三百円



第二九回関東アシュラム報告

新原 迪

しぐれる秋も、一時の好天に恵まれた第二九回関東アシュラムでした。

一九九一年九月二三日〜二五日正午、箱根アカデミーハウスの快適な会場に、参加者六十名(初参加一六名)は恵まれた集会を持ちました。

「イエスは主である」を主題として「わたしたちは神の作品であつて」(エペソ二・一〇)の主題聖句のもとに、エペソ人への手紙から「静聴」を深めた。祈りの細胞、福音の時、充滿の時に至る全てのプログラムに主のたいなる御手が置かれ、参加者一同はこれに汲み、頌ち合った。

今回の助言者は日本イエス・キリスト教団垂水教会牧師中島彰師が招かれ、両日に亘る「福音の時」をご奉仕下さった。

まず第一日目午後二時からの開会礼拝は向山委員長が当り、オリエンテーションに続く「開心」は、新人には大きな経験でした。漸く緊張の解ける夕暮れ、楽しい団らん、食卓を囲みつつ、窓越しの夕陽に映える芦の湖畔の眺望が、さながらガリラヤ湖を思わせるようであった。夜のとばりもすつかり下りた頃、第一夜の連鎖の祈りが一段と深まり、そして翌朝に続き、正に連鎖の祈り

でアシュラムが支えられる。

第二日朝の静聴は大石師の司会。「福音の時」は両日に亘って助言者から霊の恵み溢れる御言に、聴従への決意を新たにされた。「労作の時」はその意義をもう一度学ぶこととし、愉快なパロウの戴冠式が演じられた。

第二夜の「讚美と証しの夕」では有志のコーラス、また証しの一つ一つに感激、助言者も立証に立たれて讚美の夕にふさわしい一時であった。二五日早朝の「静聴」これはアシュラム人の日常の基本、その御言の恵の頌ち合いも豊かに朝食に続く「福音の時」「充滿の時」には文字通り満たされ、席上献金一六、〇〇〇円、人智を超えた御霊の業が起され「主であるイエス」の栄光を拝した。

最後の昼食は個々に始め、交々の語らい。時を惜しみつつ、来年もまた「と、祈りのさずなを結んで三々五々散会していった。胸には三本指の挨拶のバッチを輝かせて」。

◆信友だより◆

大阪市 渡部清教
海老澤先生。現在の教団教区を見ると、アシュラムによる聖霊の充滿と訪問伝道の活動面が併行し始めて信徒の務が全うできると思います。

大阪府河内 小林勝
日々の生活の中で神様との交わりの一時を持ち得ますのもアシュラムの祈りによることと痛感いたします。

アシュラムの五大原則

◆献金報告(前号以降)

無名 五〇、〇〇〇円
関西(ア) 七〇、〇〇〇円
関東(ア) 追加 四〇、〇〇〇円
(九一年度分)
九州(ア) 二〇、〇〇〇円
合計 一八〇、〇〇〇円(大五)

好評・三版出来!

海老沢宣道著
「アシュラムの原則と実際」
新書判52頁 価三百円 72円
スタンレー博士に親しく指導を受けた著者がアシュラムの五大原則と守り方を平易に解説。

アシュラム生活の最良の友

アパ・ルーム

(年6回刊行の日々の糧)

国際的、超教派的、霊的な読物

価220円 72円、年1,752円

発行所 (256) 小田原市国府津3-11

振替口座 (東京) 1-193834 アパ・ルーム

日本語版は創刊以来41年続行中

東京都目黒区中央町1-21-10
碑文谷教会気付